

—SPARK— 70年の想いを今ここに

能代西高校では、10月3日に『第22回西高祭』を開催しました。今年が創立70周年という記念の年ということで、心に残る文化祭にしようと生徒会が中心となり、全校生徒が協力して準備してきました。

当日は各クラスによる趣向を凝らした出し物や、新米、果物、野菜販売、チャレンジショップなどが出店されました。このうち、生物資源系列の生徒たちは、西高農場で精魂込めて作ったお米、ねぎやブドウ、梨などの農産物を特価で販売しました。開店と同時に行列ができ、あっという間に商品は売切れました。また、屋外では「ねぎの炭火焼き」をし、先日完成した「白神青ネギドレッシング」をかけた販売しました。ねぎを食べた来場者からは「ねぎがこんなに甘いとは思わなかった。ドレッシングもすごくおいしかったです」といった感想が聞かれました。

その他にも、生活福祉系列や情報科学系列の作品も多数出品され共に西高祭りを盛り上げました。



→今年もおいしい新米が収穫できました。



←初の試みの「ねぎの炭火焼」



←新鮮な野菜や果物を目当てに多くの人が集まりました。

→「白神青ネギドレッシング」も大好評でした。



～マナノサトへ参加～

ふるさと能代を自分たちの手で守り、そこで活動する人たちの交流と表現の場となる祭典『マナノサト』が9月26日に能代河畔公園で開催され、能代西高校も参加し、学校で飼育しているウサギと直接ふれあう体験ができる『能西ふれあいどうぶつ園』としたブースを開きました。子どもたちに大人気でたくさんの笑顔がこぼれていました。今年も来場した多くの方に、能代西高校の取り組みをPRすることができました。



←小さな子どもたちに大人気でした